



## 環境大臣賞(1件)

<b>環境大臣賞</b> <small>「個人・グループ・学校」分野</small>	受賞者名
	所在地
	受賞テーマ

**サンコーポ勝田台自治会**

**千葉県八千代市**

**3Rで可燃ごみの重量を減らし、古紙類を選別工夫して資源物に！**

3R活動を推進するにあたって、例えば、市のごみ発生減少の目標を達成することを目的に掲げて住民に協力を要請しても、うまくいかないことが多い。特にマンションなどの集合住宅においては、理解を浸透させるのに時間がかかる。また、自分たちが努力しても環境にどれだけ良い影響を与えられるのかという懐疑的な感情もあり、なかなか盛り上がらないことが多い。

そこで受賞者は、3R活動を日常生活と組み合わせて情報発信し、住民に3Rが自分の健康、家計、居住者間交流などと関係していると感じてもらえるように努めている。

活動は、下記の3R活動を軸に行っている。

1. リデュース
  - ・無用、無駄になる物は買わない、断る、もらわない。計画的に必要な量・物だけ買い、食べきる、使い切る。マイバッグを持参し、梱包なしで買い物をする。
  - ・ゴミ袋に入れる前によく水切りをする。
  - ・「使い捨て品」よりも、「繰り返し使用可能品」を買う。
2. リユース
  - ・耐久用品は点検、手入れ、修理で長持ちさせる。
  - ・運動時の水分補給はペットボトルなどの容器に水道の水を入れて持参、出来るだけペットボトルに入っている微量風味付き水、スポーツ飲料は買わない。これらには、数十カロリー含有していることもあり、水道水を持参することを推奨している。空ペットボトルの増加防止にも役立つ。市の健康づくり課の講師も運動を始めるときに毎回、数十カロリーの含有に注意するように言われる。
  - ・不要となった耐久用品は、出来るだけ中古品として引き取ってもらう。
  - ・耐久用品が必要な場合は中古品の購入を検討し、気に入ったものが見つかったら、積極的に活用する。
3. リサイクル
  - ・ゴミ袋に入れる前に、資源になる物は手間をかけても資源物として出す。
  - ・基準を厳守しようとするとうまくいかないので、なかなか資源物としての回収率が上がらない。このため、次の工程の人がどのようなことに困るかを分かるように示して、選別方法を工夫し、関係先と相談して進める。

市のごみ減量目標、ごみの分別、出し方、各家庭のごみ減量の方法などについて、「サンコーポだより」を配付、資料の掲示、運営委員会での報告、日常の対話を通じてマンション居住者に関心を持ってもらい、協力してもらうように努めている。

ごみ減量の目標達成のためだけでなく、3R活動が自分の生活の健康、経費、居住者間交流にも役立っていることを紹介しながら、住民に関心を持ってもらえるように働きかけ、協力を呼び掛けている。

住民間の関わり方については様々な価値観があるので、今後、住民間の交流がどの程度であれば適切なのかを考えながら活動していく。また、一人住まいの高齢者の見守りや手助けも、3R活動に取り込んでいく考えである。